

# Evolution for Customers

—— 全進で未来へ “シンカ” ——

## 2022年3月期 第2四半期 連結決算説明資料

### 株式会社ヒガシトウエンティワン (9029)

## ◆ 2022年3月期 第2四半期 連結決算概要

## ■ 2Qの経営成績

### ★ 2Q累計期間における売上高・経常利益としては、共に過去最高を更新

⇒ **売上高**は、[中期経営計画2023]達成に向けた業容拡大に加え、コロナ影響による業績悪化が最も深刻であった前年同期と比較し回復基調となったこと等により増収（売上高124.4億円/前年同期比+10.8%）

⇒ **経常利益**は、業容拡大による収益源の増加や、前年度から取り組んでいる、経費削減・業務効率上昇による筋肉質な経営体制構築の効果等により増収（経常利益8.1億円/前年同期比+53.6%）

【ご参考】

連結損益計算書概要 (百万円)	2021年3月期 実績		2022年3月期 実績		前年同期比		2021年3月期 実績	
	2Q累計	構成比	2Q累計	構成比	増減額	増減率	通期	構成比
売上高	11,237	100.0%	12,447	100.0%	1,209	10.8%	24,436	100.0%
売上総利益	2,352	20.9%	2,752	22.1%	400	17.0%	5,062	20.7%
販売費および一般管理費	1,929	17.2%	2,038	16.4%	108	5.6%	4,039	16.5%
営業利益	422	3.8%	714	5.7%	291	69.1%	1,022	4.2%
経常利益	533	4.7%	818	6.6%	285	53.6%	1,287	5.3%
特別利益	3	0.0%	5	0.0%	1	33.5%	3	0.0%
特別損失	2	0.0%	1	0.0%	△1	△51.9%	240	1.0%
親会社株主に帰属する当期（四半期）純利益	337	3.0%	535	4.3%	198	58.8%	666	2.7%

- 運送事業 ⇒ 事務所移転作業の増加や、GIGAスクール構想によるPCキッティング業務の受託等により、増収増益
- 倉庫事業 ⇒ 既存事業の物量回復や、前年度期中より稼働したe-コマース向け大型物流センターの本格稼働等により、増収増益
- 商品販売事業 ⇒ コピー用紙等の販売が増加したこと等により、増収増益
- ウェルフェア事業 ⇒ 福祉用具の在庫圧縮、拠点統廃合による人件費減少等により、増収増益
- その他 ⇒ 駐車場事業の大口得意先との契約終了等により、減収減益

【ご参考】

セグメント別決算概要 (百万円)	2021年3月期 実績		2022年3月期 実績		前年同期比		2021年3月期 実績	
	2Q累計	構成比	2Q累計	構成比	増減額	増減率	通期	構成比
<b>売上高</b>	<b>11,237</b>	<b>100.0%</b>	<b>12,447</b>	<b>100.0%</b>	<b>1,209</b>	<b>10.8%</b>	<b>24,436</b>	<b>100.0%</b>
運送事業	7,254	64.6%	8,114	65.2%	859	11.9%	16,277	66.6%
倉庫事業	3,122	27.8%	3,501	28.1%	379	12.2%	6,347	26.0%
商品販売事業	263	2.3%	271	2.2%	8	3.4%	571	2.3%
ウェルフェア事業	445	4.0%	457	3.7%	12	2.8%	891	3.6%
その他(※)	152	1.4%	101	0.8%	△51	△33.5%	348	1.4%
	2Q累計	利益率	2Q累計	利益率	増減額	増減率	通期	利益率
<b>セグメント利益</b>	<b>1,262</b>	<b>11.2%</b>	<b>1,480</b>	<b>11.9%</b>	<b>217</b>	<b>17.2%</b>	<b>2,716</b>	<b>11.1%</b>
運送事業	744	10.3%	806	9.9%	61	8.3%	1,679	10.3%
倉庫事業	444	14.3%	593	16.9%	148	33.3%	876	13.8%
商品販売事業	△0	△0.1%	3	1.3%	3	—	10	1.8%
ウェルフェア事業	62	14.0%	71	15.7%	9	15.3%	129	14.5%
その他(※)	11	7.7%	5	5.6%	△6	△52.1%	21	6.1%

※ 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、駐車場事業等を含んでおります。

- オフィスサービス事業 ⇒ 事務所移転需要増加等により、増収
- 3 P L 事業 ⇒ e-コマース向け大型物流センターの本格稼働等により、増収
- ビルデリバリー事業 ⇒ コロナ禍の人流抑制で、テナント企業のオフィス出勤率が低下し、取次物量等が減少したこと等により、減収
- 基幹事業 ⇒ 前年同期のコロナ影響から回復し、増収
- ITサービス事業 ⇒ GIGAスクール構想に伴うPCキitting業務の受託等により、増収
- M & A ⇒ 既存子会社の、官公庁向け文書物流における物量増加や、引越需要増加等により、増収

【ご参考：報告セグメントと事業領域の関係図】

事業領域	報告セグメント				
	運送	倉庫	商品販売	ウエルフェア	その他
オフィスサービス	○				
3 P L	○	○			
ビルデリバリー	○				
基幹	○	○	○		○
介護サービス				○	
IT	○	○	○		○
M & A	○	○			

※ 売上高が計上されている部分を「○」で表記しております。

【ご参考】

事業領域別売上高 (百万円)	2021年3月期 実績		2022年3月期 実績		前年同期比		2021年3月期 実績		
	2Q累計	構成比	2Q累計	構成比	増減額	増減率	通期	構成比	
<b>売上高</b>	<b>11,237</b>	<b>100.0%</b>	<b>12,447</b>	<b>100.0%</b>	<b>1,209</b>	<b>10.8%</b>	<b>24,436</b>	<b>100.0%</b>	
<b>重点事業</b>	オフィスサービス事業	1,671	14.9%	2,004	16.1%	332	19.9%	4,156	17.0%
	3 P L 事業	1,300	11.6%	1,529	12.3%	229	17.6%	2,723	11.1%
	ビルデリバリー事業	777	6.9%	768	6.2%	△8	△1.1%	1,617	6.6%
<b>基幹事業</b>	基幹事業	6,614	58.9%	6,996	56.2%	382	5.8%	13,697	56.1%
<b>独自事業</b>	介護サービス事業	445	4.0%	457	3.7%	12	2.8%	891	3.6%
	ITサービス事業	428	3.8%	690	5.5%	261	61.1%	1,349	5.5%
<b>上記の内 M&amp;Aによる売上高</b>	<b>2Q累計</b>	<b>構成比</b>	<b>2Q累計</b>	<b>構成比</b>	<b>増減額</b>	<b>増減率</b>	<b>通期</b>	<b>構成比</b>	
<b>売上高</b>	<b>1,331</b>	<b>100.0%</b>	<b>1,476</b>	<b>100.0%</b>	<b>145</b>	<b>10.9%</b>	<b>2,573</b>	<b>100.0%</b>	

※ 現時点で[M&Aによる売上高]は、全て基幹事業領域に属しております。

※ 中期経営計画2023上の経営財務目標である[重点事業領域売上比率]算定上、重点事業以外に含まれるM&Aによる売上高は、重点事業売上高として扱います。

## ◆ 2022年3月期 連結業績予想

★売上高・経常利益共に過去最高を見込んでいた前回発表を更に上方修正

[今回修正予想：売上高265億円(前回発表比+1.9%)/経常利益14.5億円(前回発表比+11.5%)]

- ⇒ 上半期実績は、e-コマース向け、インフラ会社向け3 P L 事業における物流量や、ITサービス事業におけるGIGAスクール構想に伴うPCキッティング業務の受託量等が、想定を大きく上回ると共に、本社間接経費を徹底して抑制し、損益分岐点を引き下げたことにより、売上・経常利益が当初予算を超過し、過去最高を達成
- ⇒ 通期業績予想は、下半期、10月より開始したインフラ会社向け資材調達3 P L 事業への初期投資費用や、重点事業領域への人材投資等が予定されているものの、通期では売上・利益共に当初予算を超過する見込みであるため、上方修正
- ⇒ 配当予想は、当初予算を超過する見込みであることから2円積み増しし、1株22円とする

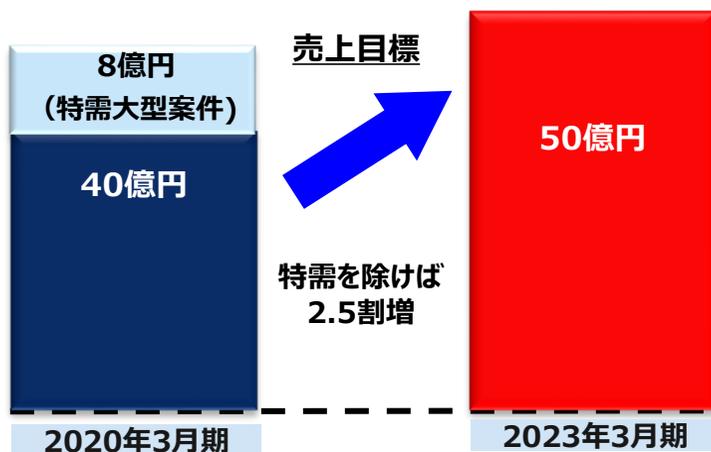
【ご参考】

連結業績予想 (百万円)	2022年3月期 前回発表予想 A		2022年3月期 今回修正予想 B		前回発表予想比 B-A		2021年3月期 実績	
	通期	構成比	通期	構成比	増減額	増減率	通期	構成比
売上高	26,000	100.0%	26,500	100.0%	500	1.9%	24,436	100.0%
営業利益	1,241	4.8%	1,300	4.9%	58	4.7%	1,022	4.2%
経常利益	1,300	5.0%	1,450	5.5%	150	11.5%	1,287	5.3%
親会社株主に帰属する当期（四半期）純利益	818	3.1%	910	3.4%	91	11.2%	666	2.7%
1株当たりの当期純利益（円）	63.04	—	69.50	—	—	—	51.33	—
配当予想（円）	2Q	期末	2Q	期末	2Q	期末	2Q	期末
年間配当金	0.00	20.00	0.00	22.00	0.00	2.00	0.00	18.00
配当性向	—	31.7%	—	31.7%	—	—	—	35.1%



## オフィスサービス事業

事業領域の拡大（移転・引越の多様化対応）



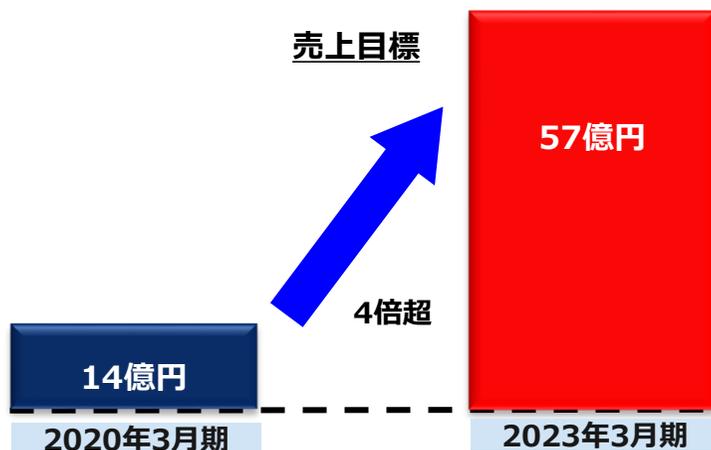
## ビルデリバリー事業

ビルデリ事業の更なる推進に加え、  
メール室事業を事業の柱に加える



## 3 P L 事業

コンビニ事業からeコマース及び  
インフラ会社資材 3 P L へ重点を移行



## M & A

ヒガシ21グループの輸送力、物流設計力、  
ITを活用したサービス力などを生かし、  
新規事業領域も含め重点事業領域を強化

- ◆単なる売上拡大ではなく、ヒガシ21グループの  
中長期戦略とのマッチングを重視
- ◆M&Aを専門的に行う事業開発部の人員増強
- ◆M&A後のPMIに有効なグループガバナンスを実行  
するためのホールディングス機能の強化



## (注意事項)

- 本資料は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資への勧誘を目的としたものではありません。
- 記載されている内容は、ヒガシ21グループの将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれております。これらの記述は、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び所信に基づく見込みです。また、経済動向、市場需要、税制や諸制度などに関するリスクや不確実性を含んでおります。このため、将来の業績は当社の見込みと異なる可能性があります。
- 今後、新たな情報・将来の出来事等があった場合でも、当社は、本資料に含まれる業績に関する予想及び見通しの記述の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

### ■コーポレートサイトURL

<https://www.e-higashi.co.jp/>



その他、各種情報を配信しておりますのでぜひご登録ください

